

2025_0204 「雪の二度上峠（動画）」日々の理科 3834 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

二度上峠（にどあげとうげ）は、長野原町北軽井沢から高崎市郊外の倉渕川浦へ抜ける峠です。群馬県道 58 号線が通っていて、連休や夏休みでも一度も渋滞したことがないので、私はよく利用しています。通年で通行できますが、標高が 1390M ありこの県道では最高点なので、冬は一番の難所になります。

この日は雪でしたが、積雪がおおむね 10cm を超えないと除雪車は出動しません。私が通った時はかなり積もり始めていましたが、日中でも交通量が少ないので、タイヤの跡はすぐに消えてしまいます。最初は、峠手前の北軽井沢側のほうが雪が多いと思っていました。ところが、峠を越えた高崎市側のほうが明らかに路面の積雪が多いと感じました。

これは実は降雪量のせいではありません。長野原町側は融雪剤（塩化カルシウム）を大量に散布しているのですが、高崎市側は市街地から遠いので、ほとんど散布していないのです。やはり、融雪剤の効果はすばらしいのですが、車の床下が傷みやすいのが難点です。

(2025 年 2 月上旬／北軽井沢～高崎市)

